

西井理事・副学長が第11回日中学長会議に出席



集合写真

11月5日（火）及び6日（水）、早稲田大学において、第11回日中学長会議が開催され、西井準治理事・副学長が出席しました。日本側から23の大学・関係機関、中国側から18の大学・関係機関が集い、合計約160名が参加しました。

日中学長会議は、2000年に東京で第1回会議が開催されて以来、隔年で開催されており、両国を代表する大学の代表者が一堂に会し、大学の在り方や共通の課題について議論を行う場となっています。

第11回となる今年は、「今と未来を繋ぐために、新たな連携の扉を開く」をテーマに議論が行われました。早稲田大学田中愛治学長と北京大学王 博

副学長からの基調講演に続き、2つのセッションが行われ、グローバル化する高等教育における大学の役割と、アジアにおける協働教育・共同研究モデルについて活発な議論が展開されました。

6日の全体会合において、新たに3校（日本側は金沢大学と上智大学、中

国側は中山大学）の加盟が正式承認され、参加機関数は日本側24機関、中国側26機関となりました。

次回は2021年に中国・中山大学の主催により開催される予定です。

（国際部国際連携課）



会場の様子